



国指定重要文化財

中島家だより

2020
秋号
VOL. 2

中島家住宅の工事が始まって3年がたちました。これまで工事見学会を2回開催しましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、工事見学会は開催しません。そのため、今回は中島家住宅の工事の内容や現状などを写真で紹介します。

なお、今後の状況により、工事見学会の開催が可能な場合は、ふるってご参加ください。

・柱の修理

文化財の保存修理工事では、文化財としての価値を保ち続けるために、基本的に現在使われている材料をそのまま利用します。そのため、材料がそのまま利用できるかどうか、一つずつ確認作業を行うため、工事期間が長くなります。

そして、材料の一部が悪い場合は、その部分だけを切り取り、新たな材料を取り付けて、再び利用します。



修理前

材料の一部が悪くなっている。



修理後

新しい材料を取り付けている。

・土壁（つちかべ）の塗替え（ぬりかえ）

土壁は何度も繰り返し、土を塗って作り上げます。壁の芯（一番内側）となる部分を小舞（こまい）と呼び、その上に、藁（わら）を練り込んだ土を塗っていきます。藁を入れることで、ねばり気が強くなり、土が落ちにくくなります。



小舞（竹を縦と横に組んだもの）。竹を縄で組むことで、土が落ちづらくなり、しっかりとした土壁ができます。



土壁の塗り作業

・瓦（かわら）の取り替え

主屋に使われている瓦は全部で約 9,000 枚ありましたが、このうち約 3,000 枚が使えませんでした。足りない分は、現在使われている瓦で型を取り、新しい瓦を作り直しました。



屋根瓦（取り換え前） 瓦の一部が欠けている。



屋根瓦（取り替え後）



上：現在使われている瓦　下：新しく作る瓦の模様の確認



上：現在使われている瓦　下：新しく作る瓦の模様の確認

・地震への取り組み

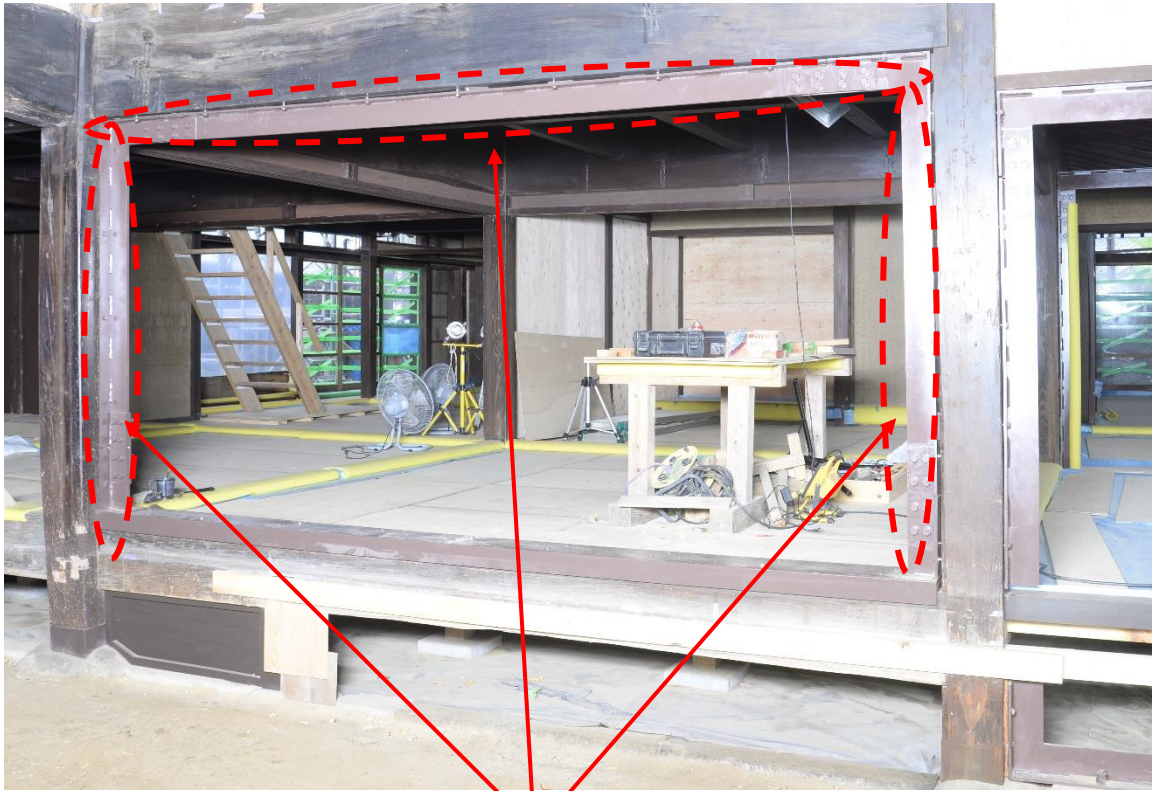
中島家住宅は地震への備えが十分ではなく、地震によって倒れる恐れがありました。そのため、一部に鉄製の枠を取り付け、地震への対策を施しました。なお、できる限り、周りの風景に溶け込むように、色を工夫しています。



鉄製の枠



鉄製の枠（茶色に塗っている）



柱と同じような色にして、目立たないようにしている。



・ 中島家住宅の現状



土壁の塗り作業



2階 座敷の土壁の塗り作業



土壁の手直し



土壁の手直し



瓦の取り換え



木材の加工作業



縁側の板を張り替え



土間から居間へ踏み台の設置



2階 手すりの設置



1階 「おみせ」部分の壁板の取り付け